

事業③	林道整備事業	担当課 地域資源循環部自然資本活用課
総合戦略における位置付け	基本目標1:安定した雇用を創出する 施策2:農林業の振興	

【関連する数値目標(KPI)及び実績】

項目		事業開始前 (令和2年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
林業従事者数	目標	—	48	48	48
	実績	29	10	10	—

令和6年度実施事業	実施内容	参考指標	事業費(千円)
	(1)令和6年度実施事項 市管理の基幹林道であり、地区林業の基幹であるとともに、緊急輸送路としての役割も担っている林道千石谷線の整備を実施した。 (2)背景 ・ 寄附を申し出た事業者(以下、「同社」)より、森林の保全、特に林道等に関することへの活用意向が聞かれた。 ・ 地方版総合戦略の基本目標1「安定した雇用を創出する」の施策2「農林業の振興」において、「林道の基盤」が規定されていることから、寄附金を充当する要素事業の内容として林道整備事業を選定し、事業費の一部に充当した。 (3)企業版ふるさと納税受領額 10万円(1社)	令和6年度実施事項 林道千石谷線 コンクリート路面工 L=70m A=335.1㎡	4,065
		(合計)	4,065

担当者評価	【令和6年度評価】	【令和6年度の評価内容】
	②相当程度効果があった	○千石谷舗装について、寄附金の活用により量的充実が図れた。 ○寄附事業者は、林業振興に意識の高い事業者であり、管理作業道の減災対策も行うなど持続可能な林業に向けた取組みを積極的に行っている。 ・令和5年度も、同社より同様の趣旨・金額で寄附を受け入れている。 ・附属機関「かわちながの森林プラン推進協議会」に同社代表が委員に就任（令和4年度より） ・同社については、経営管理実施権配分計画に係る選定事業者にも選ばれており、経営管理された森林を増やす上で林業体としての役割を担っている。

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	寄附企業との関係性が寄附のみにとどまらないよう、同社が行う森林整備に必要な支援を行い、継続的な林業振興の後押しをしていく。 さらに、CSR活動を行っている企業に森林整備が気候変動対策にもつながることを併せて周知し、さらなる企業版ふるさと納税を含めた資金獲得に繋がる取組みを進める。

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
	取組事業が総合戦略における位置付け・関連するKPI達成のために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	